



# 予算等審査 特別委員会で 質疑をしました

## マイナンバーカード制度の 問題点および パートナーシップ宣誓制度 市民費 2月28日

政府はマイナンバーカードで健康保険証を利用できるシステムを導入することを医療機関に義務付けるとしているが、多大なランニングコストがかかり義務化に従わなければ保険医の資格を取り消すという方針も示されてきて、廃業を検討する医療機関もでてきている。医療サービスの低下ともなりかねないの見解を質しました。

保険証利用については一部の医療関係者から懸念が示されているのは承知している。国から示されていることを丁寧に説明していると答えました。

マイナンバーカードと図書館カードの紐づけは現在60の自治体で導入されているが、個人の思想信条の自由を踏みにじることになりかねず、情報を守る立場から断じて容認できないと質し、利便性向上につながる一方、カードの提示することによる紛失などの懸念もある他都市の導入状況を把握し考えていくと答えました。

現在人口の6割以上がカバーされている同性パートナーシップ宣誓制度について、仙台での導入を求めました。市民の理解もと進めていくべき、国の動きも踏まえながら検討していくとの答弁でした。



## 子ども参加での 児童館づくりなど 健康福祉費 3月2日

児童クラブ支援員の恒常的な人材不足の中、採用に苦労している常勤職員の採用についても質し、要支援児に応じた非常勤の加配職員について1名を常勤職員に切り替え、約90名が常勤化となる。これまでより人材の確保がしやすくなるかと考えているが、各運営団体の職員の確保・定着が進むよう、後押しし

ていくと答えました。  
子ども基本法との関連で子ども参加での児童館づくりが肝要であることと質問し、アンケート調査において、児童等から直接意見を収集し反映していきたいと考えていると答えました。

## 米および米粉の需要拡大、 多様な食文化 経済費 3月3日

来年度の米の需要拡大に向けた米と米粉の活用促進について、米の消費拡大は生産振興と表裏一体で重要な取り組みであると認識している。米の消費拡大および価格高騰が続く小麦粉に代わるものとして米粉の需要を喚起することを目的に、料理教室等のイベントおよびカレー店などの飲食店と連携したスタンブラリーの開催を予定しているかと答えました。

またムスリムやヴィーガンなど、多様な食文化に対応するための取り組みを聞き、多文化共生という考えから、市民の認知度・理解度のさらなる向上が必要であり、様々な媒体を活用した広報など、啓発に努めたいとの答弁でした。



# あったかトーク

第44号 2023年 春号

**ひぐちのりこ  
事務所**  
(青葉区版)

発行人  
樋口 典子

1959年仙台生まれ 管理栄養士 保育士  
 市民フォーラム市議団 幹事長  
 ●都市整備建設常任委員会 委員長  
 ●文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会 委員長  
 ●議会運営委員

## 計79件の議案を審査

2023年第1回定例会市議会は、2月10日開会、3月14日閉会の日程で開かれ、各会計の新年度予算案など計75議案と4件の議員提案条例が審査されました。

開会日の冒頭、都市市長は今年度施政方針を表明しました。「ひとが輝く、デジタル化を推進する」、「ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む」、「すべての人が活躍できるまちの魅力を創造し、発信する」の3つの施策の柱を提起しました。

### 「(仮称)子ども財団」 設立へ

子どもたちを暖かく育む施策を担うため、「子供未来局」を「子ども若者局」に改め、「子ども財団」を設立することとなりました。また子ども医療費助成の所得制限の撤廃。いじめ・不登校対策については、中学校に専任教員を配置とともに、在籍学級外教育「ステーション」の増設、スクールソーシャルワーカーの増員、南小泉中に夜間中学校が開設されることになりました。

### 福祉・医療の拡充

仙台市医療政策基本方針を策定するとともに、休日夜間救急オンライン診療の導入、民生委員の活動費の増額とサポート体制の拡充、困難を抱える女性への支援強化も図られることになりました。

### まちづくり

定禅寺通のにぎわい空間創出、市役所本庁舎の建て替え整備、青葉山エリアに整備を予定している音楽ホールと市中心部震災メモリアル拠点整備、仙台駅西口の青葉通の社会実験を踏まえたまちづくりなどが進められることになりま

した。また、4月末からの全国都市緑化フェアの開催などを契機に、社の都の都市ブランド力の強化も謳われました。

防災環境都市づくりでは、プラスチック資源循環の推進、家庭向け脱炭素推進なども進められることになりました。



### 過去最高の当初予算

一般会計は当初予算としては過去最高の6,147億円となりました。政策の柱に掲げた子育て・若者支援、デジタル化、世界に選ばれる都市としてスタートアップ(新興企業)育成などの主要施策に踏み込みました。

### 太陽光発電事業導入に 市条例

今年7月に日貝森小学校跡地にオープンする公文書館に関する条例、市職員の定年延長により退職金が増加するのに対応するための退職手当基金条例が提案されました。さらに議員提案により「仙台市太陽光発電事業の健全かつ適正な導入、運用等の促進に関する条例」と、「仙台市議会の個人情報の保護に関する条例」な

どが提案され可決されました。  
県が主導する4病院再編構想について情報開示や説明、関係者との意見交換を行うなどの「市内病院を含む4病院再編構想に関する件」も決議されました。

### 市議会ひぐちコラム

3月8日は「国際女性デー」  
女性議員を中心にシンボルのミモザの花にあわせ黄色を纏って市の議場に臨みました。



我が国の2022年の男女平等指数は146か国中116位とG7最下位であり、政治と経済の分野での格差は甚大です。仙台市の女性議員の割合は24.1%、宮城県では13.9%。県内の女性議員ゼロまたは1人のみ議会も13自治体と3割ほどです。「政治分野における男女共同参画推進法」は、全ての議員選で男女の候補者数を同数に近づけるよう各党に求めています。強制力や罰則はありません。議会の場にも多様性が必要です。

ホームページ <http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐちブログ <http://nohiguchi.jugem.jp/>

twitter アカウント名 #nohiguchi

facebook ページ <http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172

**ひぐちのりこ事務所**

〒980-0011  
 仙台市青葉区上杉3丁目9-31  
 プリマヴェーラ杜王101  
 TEL.022-398-8171  
 FAX.022-398-8172

セブンイレブン側からお入り下さい。  
 お気軽にお立寄り下さい!

# ひぐちのりこ 東奔西走!

# 皆さんの声を聴いて、市政へ!



## 1月10日~11日 議会運営委員会視察

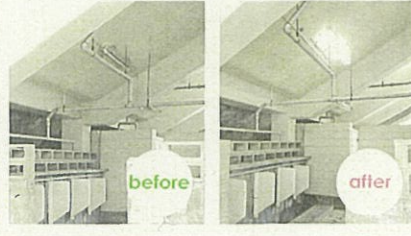
神奈川県藤沢市議会での取り組み、委員会のオンライン開催における導入に至った経緯、実際のオンライン委員会について動画での説明を受けました。

続いて、通年議会を行う京都市会では議場での視察でした。京都市会では2021年8月末に本会議場などの改修工事が終了し、歴史的な照明や壁を保存活用しながらバリアフリー化などのリニューアルを施しています。

本会議場のカメラやディスプレイ、マイク、ヒアリンググループ(補聴器を使用している方がクリアな音声となるよう)の設置、またディスプレイでの残時間の表示などを行う操作卓も見学しました。

## 野球場スタンドで トイレ 地域の要望等で改善されました

野球スタンド下面剥離部分の補修を実施。その他、トイレ照明器具の蛍光灯をLEDに交換しました。



## 1月30日 みやぎ女性議員のつどい研修会

(公財)せんだい男女共同参画財団の困難を抱える女性への支援事業「女子のためのほっとスペースから見えるもの」について講演がありました。どこにお住いの方も相談ができ、国の地域女性活躍推進交付金を活用した事業で「もやもや」を抱えた女子を対象にその思いをちょっと

軽くしませんか? と、さまざまな分野の相談員が「ほっとスペース」で伴奏型の支援を行っています。コロナ禍でより大きな打撃を受けるのは社会的に支えが必要となる女性や若年女子であり、いらっしゃった方々が心を開き、押しつけがましくなく、寄り添う姿勢に留意していることなど頷くことばかりでした。参加した皆さんから、「必要な人に届く広報などの工夫」や、「住まいから離れたところで相談を望む人が多いが実際はどうなのか」、「支援をする人たちのケアについてはどのようにしているのか」などの質問もあり、それぞれの自治体に戻って今回の研修で学んだことを活かしたいとの声も聞かれました。



ひぐちのりこ  
女性議員のつどい  
総会&研修会



## 1月23日 会派要望の回答

昨年10月13日に提出した市政運営18件および来年度予算に関する要望128件について回答がありました。

命と人権を大切に教育の推進については、全校に週1回スクールカウンセラーを配置するとともに、スクールソーシャルワーカーの活用を推進していきたい。

今年開館する貝森小学校跡施設を利活用して整備した公文書館については、改修工事、書架備品の設置、文書搬入、文書標蒸等の作業を経て、令和4年11月末に準備室の執務室を公文書館内に移転させた。開館スケジュールや公文書館の運営内容などを地域の方々に改めて説明す



るとともに、開館時の内覧や貝森小メモリアルコーナーの設置など、地域の方々をはじめとする市民の意見を踏まえながら、親しみを感じてもらえる施設としてまいりたい、との回答でした。

全文は社民フォーラム  
市議会Facebookページに掲載しています。



## 3月15日~16日 「飯館村太陽光発電事業」および「原子力災害考証館」視察

会派での視察をしました。15日は原発事故で全村避難となった福島県飯館村で村民の方々主体で自然エネルギーでの太陽発電を行っている飯館電力の事業を見学しました。

16日には、いわき市湯本温泉の原子力災害考証館 furusato を視察。原子力災害についての様々な角度からの展示がありました。原発事故で起こった事実を風化させることなく未来に活かす取り組みを学びました。



## ひぐちのりこ 主な活動日誌

2月4日	音楽ホール関連シンポジウム	3月10日	勾当台公園再整備基本計画中間案の説明会
2月9日	2023年度地方財政セミナー	3月11日	東日本大震災追悼式
2月23日	宮城県精神医療センターの移転・合築を考えるシンポジウム	3月18日	ふるさとの杜植樹式
2月24日	都市整備建設常任委員会	3月23日	文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会
3月4日	仙台防災未来フォーラム2023	3月31日	伊達政宗公騎馬像搬遷記念式典
●●● これからの主な予定 ●●●			
4月1日	新川地区地域交通「ハツ森号」出発式	4月25日	文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会
4月10日	仙台市立国見小学校入学式	4月26日	第40回全国都市緑化仙台フェア開会式
4月21日	都市整備建設常任委員会	4月29日	新緑祭
4月24日	議会ICT化推進検討会議	5月10日	仙台市給水開始100周年記念式典

## 1月16日 柏市ストリートミュージシャン制度について視察

文化・芸術・スポーツ振興調査特別委員会で、2005年4月にスタートした柏市のストリートミュージシャン制度について視察をしました。柏市がミュージシャンに活動の場を提供し、市民団体が主体となって運営をしています。



※柏駅東口駅前ダブルデッキのストリートライブ可能場所

演奏については「柏ルール」(発電機、アンプ、ドラムを使用せず、人の生声までの音量が基本)を作り、同意できるミュージシャンが登録をし、演奏が可能な場所での演奏を行うものです。就学前児から高齢の方まで多くの方が登録をされており、現在2337件の登録があるそうです。メジャーになったアーティストもおり、励みになっているそうです。

またストリートミュージシャン制度からの派生として吹奏楽を活かしたまちづくりが行われたほか、ペDESTリアンデッキに人工芝や木製の椅子を設置し、通路だけでなく停留する空間への変化ももたらしています。

柏駅周辺のイメージアップを図り、より多くの集客を目指し、柏=音楽のまちを発信していることに多くの知見をいただきました。

ひぐちのりこ  
おアットミュージシャン  
制度について視察



お願い 「ひぐちのりこ市議会ニュースレター」を郵送でお届けしている方につきましては、発行側の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたらあわせてお知らせくださいますようお願い申し上げます。